

Access Map



令和4年 和歌山県立医科大学 医学部案内

和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス・附属病院

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1
Tel:073-447-2300(代表) Tel:073-441-0702(学生課)

和歌山県立医科大学 三葛キャンパス

〒641-0011 和歌山市三葛580番地

和歌山県立医科大学 伏虎キャンパス

〒640-8156 和歌山市七番丁25番1



ホームページ
<http://www.wakayama-med.ac.jp/>



令和4年 和歌山県立医科大学

医学部案内

本学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

3つのポリシー

■ アドミッションポリシー（入学者受入方針）

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

1. 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人
医学を志す人には、旺盛な科学的探究心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求めます。
2. 医学を修得するための幅広い能力を有する人
医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。そのため、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。
3. コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人
医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力（情報の共有と良好な患者・医師関係が築ける能力）が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。
4. 地域医療に関心があり、国際的視野を有する人
本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。地域医療に関心があるとともに、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

■ カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

和歌山県立医科大学医学部は以下の教育を通じて真のプロフェッショナリズムを育成します。

1. 社会人として必要な教養とともに医師として必要な倫理観、弱い立場の人々と真摯に向きあえる共感的態度やコミュニケーション能力、ケアマインドが育成できるよう、早期体験や医療福祉施設での参加型実習や患者および家族と直接触れ合う教育
2. 医学に必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識が獲得できる教育
3. 基礎医学において、生体の構造と機能、病態との関連、疾患の概念が理解でき、問題解決型能力が獲得できるとともに研究マインドが育成できる教育
4. 臨床医学において、基礎医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診断、治療方法が理解できるとともに、汎用的技能を習得できる教育
5. 臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の臨床参加型実習を学内外で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力が獲得できる教育
6. 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得できる教育

■ ディプロマポリシー（学位授与方針）

和歌山県立医科大学医学部は次の能力を獲得した者に医学士の学位を授与します。

1. 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
2. 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの
3. 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
4. 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの

さあ羽ばたこう、和歌山の地から世界へ！

和歌山県立医科大学は、昭和20年に和歌山県立医学専門学校として設立され、以来70余年の歴史の中で、優れた医療人の育成、先端医学研究の展開、高度・先進医療さらには地域医療の実践などを通じてたゆまない発展を続けています。

平成10年には大学本部、医学部、附属病院を紀三井寺キャンパスへ移転し、三葛キャンパスに保健看護学部、大学院保健看護学研究科及び助産学専攻科を設置、さらには医学部定員を100名に増員、高度医療人育成センター、地域医療支援センターを設置、附属病院東棟を増築するなど、大学として大きく発展を遂げてきました。さらに本年4月には伏虎キャンパスに薬学部（6年制定員100名）を開設し、医・薬・看の3学部を擁する医療系総合大学として新たなスタートを切りました。

医療の多様化・複合化や高齢化の急速な進展、健康に対する社会的ニーズの高まりの中にあつて、医療社会情勢の変化に対応できる高度で専門的かつ総合的な医療人を育成します。

カリキュラムポリシーに則り、3学部相互の多職種連携教育、ケアマインド教育及び早期からの参加型実習を通して、社会人として必要な教養を涵養し、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力及びケアマインドを育成します。アウトカム基盤型教育を通し、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を備え、地域医療と国際社会に貢献できる人材を育成します。特色として、教養教育の3学部一体的展開、3年次の基礎配属を1年間通して実施すること、基礎医学と臨床医学との縦断的統合授業を行うことなど基礎医学教育の活性化を図ります。また、大学院準備課程（M.D-ph.Dコース）を設け、学生時から大学院を目指す研究徒を積極的に支援します。

本学附属病院は、特定機能病院に指定され、最先端の医療を提供する傍ら、高度な臨床医学教育の場として機能しています。特徴として、国公立大学では初のドクターヘリを導入し、高度救命救急センターは、全国トップクラスの機能評価を受けています。また、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の複数整備、がんゲノム医療連携施設に指定されるなど、高度な治療体制が整備されています。さらに、中央部門に「睨がんセンター」と「脳卒中センター」を設置し、「睨がんドック」による睨がんの早期診断・早期治療や「脳卒中センター」における高度な外科治療からリハビリテーションに至る脳卒中医療の充実を図っています。その他、総合周産期母子医療センターやへき地診療所と当院を結ぶ遠隔外来システム、遠隔救急支援システム等専門施設が網羅的に整備され、豊かな医療環境を生かしながら高度かつ専門的教育を実践します。

医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育を基本としながら、質の高い医療人を養成するための独自のカリキュラムを実践します。また、本学は、平成30年3月、日本医学教育評価機構から「医学教育分野別評価」に適合する評価を受け、まさに国際基準を満たす教育を実践しています。将来本県における地域医療を担う意欲・使命感をもった医療人を育成するとともに国際社会で活躍できる優れた医療人を育成します。

「地域とともに世界に羽ばたく大学！」をスローガンのもと、卒前から卒業まで一貫した教育理念に基づき、入学時から卒業研修までシームレスな教育を実践します。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年度は教育体制の見直しを余儀なくされました。この経験を生かすべく、遠隔講義システムをはじめとして来るべきICT時代にふさわしい教育環境、教育システムを構築して参ります。

医療の未来、本学の未来は君たち若人の手の中にあります。今まさに本学は、医療系総合大学として君たち若人ともに大きく羽ばたこうとしています。医師、医学研究者を旨とする諸君よ、本学は、若い力を夢を存分に実現できる環境を整えて情熱あふれる若人を歓迎します。諸君とともに教育、研究、医療の分野でのオンリーワンの大学をこの和歌山から創っていくではありませんか。そんな情熱あふれる若人を待っています。



和歌山県立医科大学 理事長・学長

宮下 和久

1ページ	理念・3つのポリシー	13ページ	年間スケジュール
2ページ	学長あいさつ	14ページ	入学金・授業料・奨学金など
3ページ	医学部長あいさつ	15ページ	国際交流・入試結果
4ページ	医学部の教育目標・沿革	16ページ	学生募集要項
5～11ページ	教育内容	17～18ページ	キャンパスマップ
12ページ	課外活動		



和歌山県立医科大学 医学部長
伊東 秀文

本学で医師を志す皆さんに期待を込めて

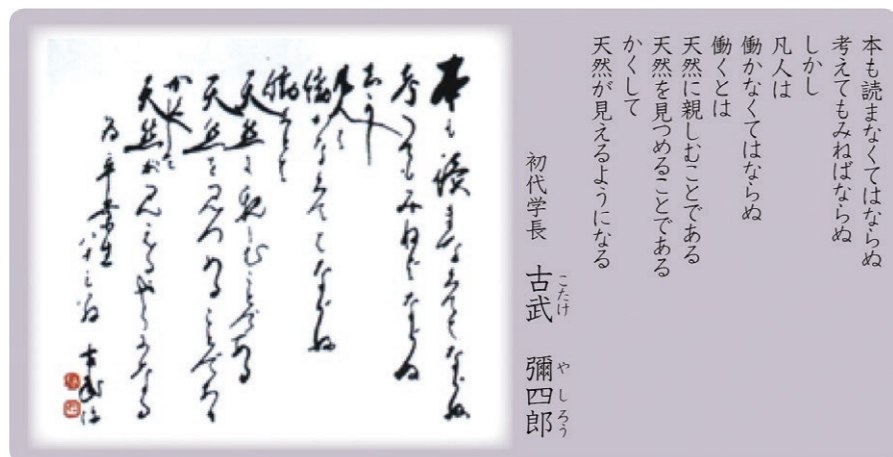
病によって深い苦しみの中におられる方々に手を差し伸べ、疾患の克服と苦痛の緩和に全力を尽くして懸命に取り組む医師を育成することこそが、私たち和歌山県立医科大学医学部の使命です。創立以来75年以上にわたり、本学は多数の優れた医師・研究者を輩出し、人々の健康と医学の発展に貢献してきました。

この間にも医学は飛躍的に進歩し、以前はまったく分からなかった病気の原因や病態が次々と明らかになり、分子レベルでの治療も可能となってきました。しかし一方で、原因がいまだにわからず、治療のすべがまったくない病気も数多く存在しています。このような患者さんに対して現在の医学は無力ですが、それでも私たちはその苦痛を少しでも和らげるため、多職種のメディカルスタッフと力を合わせ、医療と看護、介護を通じて誠心誠意患者さんと向き合わねばなりません。

これらのことから、医学部6年間で身につけなければならないことがいくつかあることがわかります。まず、患者さんを正確に診断し適切に治療するためには、正しい医学知識と確かな診療技能を身につけることが必要です。しかし診断は必ずしも簡単につくとは限りませんし、治療もすぐに効果が出ない場合もあり、合併症や副作用で病態が複雑になることもまれではありません。そうした場合でも、問題点を整理し、粘り強く解決していく問題対応能力が必要です。良好な患者医師関係を築き、チーム医療を実践し、医療の安全を確保するためには、適切なコミュニケーション能力が求められます。2021年、医療系総合大学となった本学は、医学部学生にとって、今後ますます進む超高齢社会における医療に必要な多職種連携を学ぶ絶好の環境が整ったといえます。

医学を学び、医師としての経験を積んでいくうちに、現在の医学の限界を痛感する時が来ます。現状に甘んじたりあきらめたりせず、そうしたときこそ科学的探究心を持って、病態解明や新たな治療法開発の研究に力を注いでほしいと思います。これこそが本学開学の理念のひとつである華岡青洲の「活物窮理」そのものであり、本学の初代学長、古武彌四郎先生のおことばに通じる精神です。医学は常に進歩します。これから医師となろうとする皆さんは、常に患者さんに最新の医療を提供するため、生涯にわたって学び続ける姿勢を忘れてはなりません。

このように、日々の努力と研鑽によって身につけた知識や技術も、使い方を誤れば危険な凶器となります。これらをどのように用いるかを決めるのが、医師にとって最も重要な「倫理観」です。医師は、高度な専門性とともな公益性や道徳性が強く求められるプロフェッションです。患者さんのために自分はどう決断し、どう行動すべきか、最善の判断を下すための高邁な倫理観が培われるよう、高い志を持って人間性を磨き、自らを高めていただきたいと思います。私たち和歌山県立医科大学医学部の教職員は、そのような皆さんを全力で支援します。



初代学長 古武 彌四郎

本も読まなくてはならぬ
考えてもみねばならぬ
しかし
凡人は
働かなくてはならぬ
働くと
天然に親しむことである
天然を見つめることである
かくして
天然が見えるようになる



初代学長 古武彌四郎先生之像

医学部の教育目標

医学部教育においては、幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成することを目標とする。

沿革

- 昭和 20年 2月 ● 和歌山県立医学専門学校設置認可（4年制、美園）
- 昭和 22年 6月 ● 和歌山県立医科大学予科設置認可（3年制）
- 昭和 23年 2月 ● 和歌山県立医科大学設置認可（旧医科大学4年制）
- 昭和 25年 3月 ● 和歌山県立理科大学併設認可（2年制）
- 昭和 26年 3月 ● 和歌山県立医学専門学校及び予科閉校
- 昭和 27年 2月 ● 学制改革による和歌山県立医科大学設置認可
- 昭和 30年 1月 ● 和歌山県立医科大学進学課程設置認可
- 昭和 30年 3月 ● 和歌山県立理科大学閉校
- 昭和 30年 4月 ● 和歌山県立医科大学開校（新制6年制、40名）
- 昭和 33年 7月 ● 学位規程の制定認可（学位審査権）
- 昭和 35年 3月 ● 和歌山県立医科大学大学院設置認可
- 昭和 36年 3月 ● 旧制和歌山県立医科大学廃止
- 昭和 38年 4月 ● 大学本部及び基礎医学部門移転認可（九番丁）
- 昭和 39年 1月 ● 学生定員60名へ変更承認
- 昭和 40年 4月 ● 進学課程移転（紀伊）
- 平成 07年 12月 ● 看護短期大学部併設（3年制）
- 平成 10年 9月 ● 和歌山県立医科大学開講式（紀三井寺）
- 平成 11年 5月 ● 和歌山県立医科大学統合移転完成（紀三井寺）
- 平成 11年 9月 ● 生涯研修・地域医療センター開所
- 平成 12年 6月 ● 救命救急センター設置
- 平成 15年 1月 ● ドクターヘリ導入
- 平成 16年 4月 ● 保健看護学部開設
- 平成 17年 4月 ● 大学院医学研究科修士課程開設・博士課程再編
- 平成 18年 4月 ● 公立大学法人和歌山県立医科大学に組織改編
- 平成 18年 8月 ● 文部科学省の「特色GP」、「現代GP」に同時選定
- 平成 19年 8月 ● 文部科学省の「学生支援GP」に選定
- 平成 19年 10月 ● 医学部定員85名届出受理
- 平成 20年 4月 ● 大学院保健看護学研究科及び助産学専攻科開設
- 平成 20年 10月 ● 医学部定員95名届出受理
- 平成 21年 11月 ● 医学部定員100名届出受理
- 平成 25年 4月 ● 大学院保健看護学研究科博士後期課程開設
- 医学部・大学院医学研究科博士課程履修プログラム開設
- 令和 03年 4月 ● 薬学部開設



校章

マークの意匠は、和歌山が生んだ医聖・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「まんだらげ（チョウセンアサガオ）」の花に「医」の文字をデザインしたものです。

「まんだらげ」の花の絵は陶芸家富本憲吉氏の作で、もとは昭和38年に開催された医学総会のために描かれたものでした。その後に「医」の文字を付加して、和歌山県立医科大学のマークとして永年親しまれてきた歴史を経て、昭和62年に正式に校章として認定されました。



活物窮理の碑

カリキュラム概要

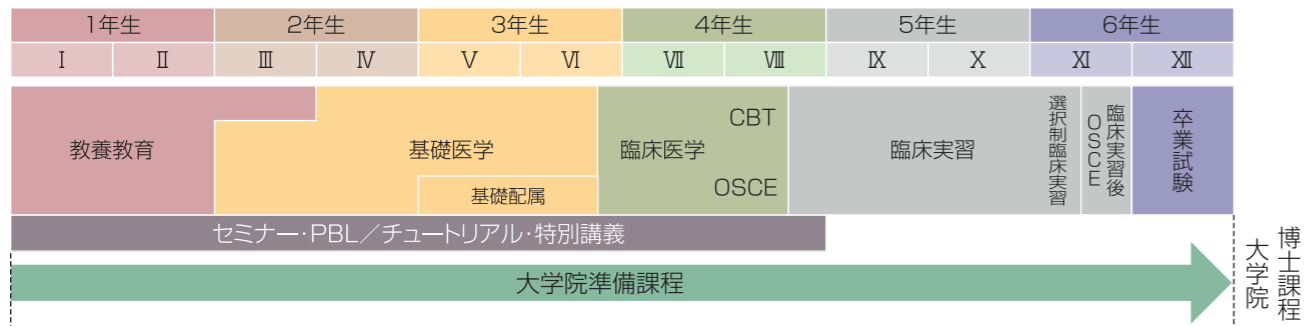
和歌山県立医科大学医学部は、知識に偏重した従来型の教育を脱却し、知識・技能・態度（倫理観）を総合的に育成できる教育を目指して成果基盤型教育を行っています。また、構造・機能、臓器別の横断的・総合的なカリキュラムを導入し、平成27年度には1～4年次にも患者に接する機会を増やすなど国際基準に適合し、臨床・研究能力の高い医師の育成が出来るようにカリキュラム改革を行いました。

改革の骨子は、1年次にはリベラルアーツ（教養教育）が中心となります。具体的には、医学部への準備教育や自然科学、社会人としての教養、医師としての倫理を学ぶ期間です。また、2年次、3年次には臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学ぶとともに、基礎配属において研究に親しむ期間を設けております。3年次の後半から4年次には臨床医学の基礎的な内容を学び、共用試験に合格した学生はStudentDoctorとして臨床実習を開始します。臨床実習では期間を延長するとともに、より診療参加型実習を行います。臨床実習後OSCEを行い臨床技能の評価を行います。

また、患者の方々の心の痛みにも目を向け、社会的な支援システムなども理解し、地域医療にも早期から慣れ親しむためのケアマインド、地域医療マインド育成にも力を入れており、1年次より早期臨床体験実習や地域福祉施設体験実習を行い、2年次には保育園実習・障害者福祉施設実習、さらに、臨床技能をシミュレーターを用いて磨き、より実践的な技能を身に付けられるよう臨床技能研修センターも併設しています。

平成25年度からは、大学院博士課程の一部を履修できる「大学院準備課程」を開始しました。これにより、医学部在学中に研究の基礎を学ぶことができるほか、大学院履修期間の短縮も可能となります。

これらの取り組みを通じて、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師としての倫理観、人間性の涵養を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。



紀三井寺キャンパス正門前

教養教育科目

教養教育科目の授業は、1～2年前期にかけて行われます。人としての幅広い見識と、専門医学への準備としての基礎知識を身につけることを目的としています。

また、入学後早い時期に医療の現場を体験する「Early Exposure 早期臨床体験実習」を実施し、医学及び医療に対する関心を高め、これからの医学を学ぶにあたっての問題意識を深めるカリキュラムがあります。

- 数学 ●統計学 ●医学統計学 ●数理科学 ●物理学 ●化学 ●生物学
- 情報処理 ●英語・ドイツ語・フランス語・中国語 ●保健体育
- ケアマインド教育 ●倫理学 ●法学 ●心理学 ●哲学 ●社会学
- 医療社会科学 ●医療行動科学 ●医療経済学 ●物理学実習 ●化学実習
- 生物学実習 ●心理学実習 ●早期臨床体験実習 ●教養セミナー
- 医学入門 ●医学概論



図書館棟・福利厚生棟



講義風景



和医大での学生生活

1年生
坂口 佑紀

皆さん、こんにちは。このご時世ですから、大学に入学した後、講義を受けられるのか不安という方もいらっしゃるでしょう。昨年は主に遠隔講義でしたが、今年は入学時点の今のところは、対面講義で実習も行うことができています。和医大は学生と先生の距離が近く、質問をしやすい雰囲気、時に先生から話し掛けてくださることもあり、勉強に励みやすい環境が魅力です。一年次は講義がきっちり詰まっています、高校の時間割とよく似ていますが、密度の濃い講義を通じて、一般教養と医師として求められる考え方や態度を結びつけて教えていただけます。また、教養セミナーでは、いくつかのグループに分かれて英文読解や企業の不祥事など多様なテーマの中から自ら学びたいものを選択し、生徒主導で学びを深めます。例えば私が選択した作文技術特訓では、レポートの主題を学生側で選択するなど、学生の自主性が重んじられています。

加えて、留学や大学院の研究・論文作成を体験することができる M.D-Ph.D コースなど自らの学びたいという意欲を最大限叶えられる環境が整っています。

一年次は看護学部生と同じキャンパスでケアマインド教育等を合同して学ぶことで、チーム医療が重要視される現在に適した医療人としての意識が養われます。今年からは薬学部も開設され、3 学部それぞれの視点から学びを深めていくことが出来るようになったことはとても魅力的だと思います。

クラブ活動等は4月時点では行われていないのですが、コロナ禍以前は和医大ではほとんどの学生が何らかのサークルに所属しており、活動も活発であると聞いています。学生主体のボランティア等もたくさんあったそうで、再開したときにはよりいっそう学生生活が充実したものになるだろうと期待が膨らんでいます。皆さんが入学されるときには、これらの活動も行われていると良いなと思うばかりです。

最後に、受験勉強を乗り越えた皆さんと、医師を目指す同士として共に大学生活を送れる日を楽しみにしています。



和医大で出会うたくさんの学び

2年生
西川 恵介

今回医学部案内への寄稿という貴重な機会をいただきましたので、和歌山県立医科大学の学生生活やカリキュラムについてお話をさせていただきます。新型コロナウイルス拡大に伴う諸般の変更により、残念ながら部活動など一部の活動には制限がありましたが、自分が一年間過ごした上で実感した本学の魅力を皆さんに少しでもお伝えできれば幸いです。

まずはカリキュラムについてです。2年生になるとキャンパスが紀三井寺キャンパスに移動し、組織学・骨学・内臓学などの基礎医学の授業がメインになります。組織標本の特徴や骨や筋肉の配置、神経の走行などといった人体の正常構造についての授業や実習が本格的にスタートし、医学生として医学の道によいよ進むことを実感します。勉強量は膨大でテストも多いですが、先生が資料や動画を用いて丁寧に解説してくれるので深く理解することができます。

次に M.D-ph.D コース（大学院準備課程）についてご紹介させていただきます。本学では研究に興味のある学生に向けて M.D-ph.D コースを設けており、私が所属する教養化学教室では、長年研究に従事された先生の指導のもとで、試薬の秤量などの基礎から始まり、タンパク質の質量分析の機器の使い方や論文の書き方などを教わりました。また、医学部生でありながら、一部の大学院の授業や大学院試験の外国語試験を受けることもできます。このように、今まで経験したことのない研究の世界に早期から触れられるのはとても貴重な経験であると感じました。

最後に学生生活についてお話しします。本学には勉強熱心で優秀な人材が集まっており、切磋琢磨しながら勉強することができます。同級生や先輩との距離が近く、勉強法やわからないところについて教え合いながら勉強するなどお互いに協力し合っています。また勉強だけでなく、学生団体やアルバイト、スポーツなど様々な新しいことに意欲的にチャレンジする人もたくさんいます。

本学では医学の勉強だけでなく、新しい世界を知り、挑戦する場でもあります。皆さんと一緒に大学生活を過ごせる日をお待ちしております。

基礎医学科目

基礎医学科目の授業は2～3年にかけて行われます。「基礎医学」は医学の原点であり、臨床医学と表裏一体をなすものです。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。

また、各講座に少人数で配属され、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学の研究室で実際の研究に触れる機会があります。

- 生体分子の構造と機能 ●細胞の構造と機能 ●人体の正常構造と機能
- 基礎医学英語 ●地域医療学 ●特別講義 ●基礎医学PBL
- 生体と微生物 ●病因と病態 ●人の死(法医学) ●免疫と生体防御
- 生体と薬物 ●生態と病害動物 ●遺伝子と遺伝子異常 ●医学英語
- 衛生学 ●公衆衛生学 ●解剖学実習 ●生理学実習 ●生化学実習
- 薬理学実習 ●病理学実習 ●微生物学実習 ●衛生学実習
- 公衆衛生学実習 ●基礎配属 ●地域実習



図書館棟



基礎教育棟



和医大での充実した日々

3年生
岡 はるか

受験生の皆さん、こんにちは。和歌山県立医科大学に興味を持ち、この冊子を手にとってくださった皆さんに、和医大での生活、魅力をお伝えできればと思います。

まずは、勉強面についてです。1年生では、生物や数学、法学といった一般教養を学びます。1年生で学ぶ内容は、医学部で学ぶと想像していた内容とは、少し違っているかもしれませんが、この基礎的な内容は、後に基礎医学や臨床医学を学ぶ上での重要な基礎となります。1年生の夏にある、Early Exposure では、約1週間、病院を訪れ、実際に医療現場を見学させていただくことで、医師を目指す動機を再確認する事ができます。2年生では、生理学や解剖学といった基礎医学を学び始めます。2年生の間は、新型コロナウイルス感染症により、遠隔講義が中心だったのですが、生理学実習や生化学実習などの実習は対面で行うことができ、2年生の秋には、系統解剖実習がありました。ご献体を長期にわたって解剖させていただくことで、細かな筋肉のつき方や神経の走行を、目で見て覚えることができました。多くの勉強熱心な友人や疑問に対して真摯に向き合ってください先生方のおかげで、楽しく医学の勉強をすることができています。

次に生活面ですが、和医大では、部活動やサークル活動、学外のボランティア活動などに熱心に取り組む学生が多いです。これらの活動を通して、部活動の技術や体力が向上することはもちろん、先輩・後輩といった縦のつながりや、OB さんとのつながりをもつことができます。私は、硬式テニス部に所属しており、コロナ禍で練習はできていませんが、部活に所属することで、時間を有効に使うメリハリのある生活になり、更に充実した日々を送れています。

最後になりましたが、受験勉強の日々は辛く、モチベーションが低くなってしまふこともあると思います。この文章を読んでくださった皆さんが、和医大に入学し、私たちと有意義な学生生活を送れることを楽しみにしております。

臨床医学科目

臨床医学科目は3年目後半から始まり、病気の診断、治療、予防について学びます。臨床実習は4年目後半～6年目前半にかけて、少人数に分かれて行われます。

医療の現場を体験しながら、良き医師としての態度や知識・技術を身につける場であり、教科書からは得がたいものを自ら学びとります。講義には、臓器別に疾患をとらえた系統的講義と各科の特徴をふまえた講義があり、臨床医学を総合的に理解するための工夫が凝らされています。

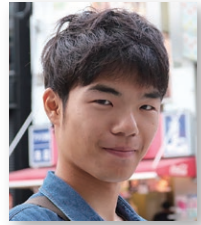
- 血液系 ●代謝内分泌系 ●感染・腫瘍免疫系 ●循環器系 ●呼吸器系
- 消化器系 ●神経系 ●腎・泌尿器系 ●特殊感覚系(耳鼻咽喉科)
- 特殊感覚系(眼科) ●皮膚科学 ●運動器系 ●精神医学系
- 生殖系 ●小児科学 ●麻酔科学 ●救急医学 ●臨床検査医学
- 画像医学 ●放射線治療 ●リハビリテーション ●歯科口腔外科学
- 緩和医療 ●病態栄養治療 ●在宅医療 ●東洋医学 ●医療情報学
- 個人情報 ●地域医療 ●医と法 ●加齢と老化 ●医療安全
- 腫瘍内科学 ●形成外科学 ●リウマチ・膠原病系 ●衛生学・公衆衛生学
- 感染制御 ●病理診断学 ●看護体験実習 ●臨床実習入門 ●臨床実習



研究棟



西医体励励会



和医大で一緒に学ぼう!

4年生
平田 拓士

皆さん、はじめまして。和医大に入学することを目標にしている方はもちろん、他大学の医学部や、そもそも医学部を目指すのかどうかを悩んでいる方など様々だと思います。これを読んだ皆さんのお役に立つことができれば幸いです。

高校3年間という時間は限られているからこそ、色々なことに挑戦し知見を広げ、自分の未来を考えて欲しいです。その上で将来は医師として社会や人々の力になりたいという方には、その夢を叶えるためにも最高の環境が整っている和医大がピッタリだと思います。理解しなければならぬ医学知識はとて多く、勉強はかなり過酷ですが、医師になりたいという強い気持ちさえあれば乗り越えられます。

私自身、高校3年生の春まで進路を悩みました。入学後は高校までとは全く違う勉強に挫折しかけたこともありましたが、相談に乗ってくれる先輩や同期、どんな質問にも快く答えてくださる先生方など、あらゆる方々に恵まれ、なんとか頑張ることができています。さらに、縁があって医学を英語で学ぶ部活動に誘われ、向上心のある仲間たちと楽しみながら勉強しています。関わった全ての方があたたかい、和医大に入学してとても良かったです。

4年生の授業の様子について少しお話しします。1月から臨床医学を学び始めました。病院棟にある臨床講堂で、人体の様々な器官についての講義を毎日受けています。2年生で習った人体の正常な構造や機能、3年生で習った病理学や薬理学などについての知識をもとに、各疾患がどのように生じ、またどのように対処していくのかについて、提示された実際の症例を見ながら学習しています。現役で医療に携わっている先生から教えていただける貴重な時間です。低学年で学んだ基礎医学の知識が臨床医学に通じているのだということを強く感じる日々です。

最後に、これからも大変な受験勉強が続くと思いますが、体調を気遣って励んでください。入学後の皆さんに会えることを楽しみにしています。



実習風景



学生自主カリキュラムの発表



ドクターヘリ



和医大でたくさんの学びを

5年生
大川 佳乃

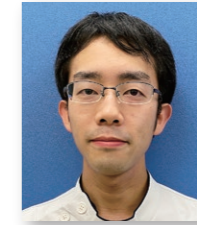
皆さんは大学生活にどのようなビジョンを描いていますか？ コロナ禍での受験生ということで、様々な制限の中で頑張っていることと思います。そんな皆さんに、私が大学生活で印象に残っていることをお伝えできたらと思います。

6年間を通して、和医大には様々な実習があります。どの実習も印象に残っていますが、特に解剖実習やポリクリ（実際に病院の各診療科を回る臨床実習）は人生観が変わるような実習でした。解剖実習には、医学の更なる発展を願う有志の方々が大切な体を献体として提供してくださっています。実習の前後には慰霊祭が行われ、実際にご遺族の方も参加されます。私は3年生の時に慰霊祭で慰霊の辞を述べる機会をいただき、ご遺族の方から直接「いいお医者さんになってくださいね」や「ありがとう」などの言葉をかけていただいたことを今でもよく覚えています。それまでは、漠然と日々の試験や部活、バイトをこなす日々でしたが、その言葉で、自分がたくさんの人に支えられて勉強ができていたことを改めて実感しましたし、いい医師になることでそんな方々に恩返しをしたいと思えるようになりました。

また、ポリクリでは高度な手術を見学したり、経験豊富な指導医のもと、実際に患者さんを診察したりします。和医大は教育体制がとても充実していて、日々実習の中で成長を感じることができ、担当させていただいた患者さんと関わる中で、医療者としての自覚を持つことができるようにもなりました。

在学中、ここには書ききれないほど、和医大のカリキュラムや部活などを通して様々な経験をさせていただきました。さらに4年生の時にはコロナ禍に突入し、今までにない類のしんどさやもどかしさもありました。けれど、和医大に入学してからの経験はどれも自身の成長に繋がったと思います。

皆さんも私たちと一緒にさらなる成長を目指して大学生活を送りましょう。皆さんにお会いできる日を楽しみにしております。



臨床実習に取り組んで

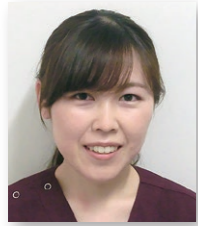
6年生
鱸 暢彦

皆さん、こんにちは。和歌山県立医科大学に興味を持ち、この冊子を手にとってくださいていること大変嬉しく思います。大学に入学して早5年が経ち、6年生になりました。現在は、臨床実習を行っています。6年生らしくここでは少し実習内容について述べたいと思います。

臨床実習ではすべての診療科で実習した後、自身の興味がある診療科で更に実習をすることができます。実習では多くの場合1人の患者さんを担当します。担当した患者さんの病気について調べ、実習の最終日に先生の前で学んだことを発表します。発表終了後に、指導担当の先生方から自分が見落としている箇所や学び足りない箇所などのフィードバックがあり非常に勉強になります。実際に患者さんを担当すると、講義で学ぶだけでは得られない様々なことを学べます。

実習を通して私が難しいと感じたことがあります。担当の患者さんの病気だけを診るのではなく、患者さん全体のことを診ないといけないことです。附属病院には様々な患者さんが入院されています。患者さんにはそれぞれ生きてきた歴史があり、家族があり、社会背景があります。そのことを考慮しつつ、コミュニケーションをとり、心を開いてもらいながら必要な情報を得るのは、とても大変でした。しかし、実習の最後に患者さんから「いいお医者さんになってくださいね。期待しています。」と声をかけてもらったときはとても嬉しかったです。期待に添えるようにこれからも精進努力していきたいと思っています。

ここまで実習（勉強）のことを述べましたが、和医大は課外活動も盛んです。現在は COVID-19 のために活動が制限されていますが、多くの学生がクラブやサークルに参加し、それぞれの目標に向かって日々努力しています。学生生活は、勉強も大変ですが、自由な時間も多々あります。その時間を使って更に勉学に励むもよし、新しいことにチャレンジするのもよしです。今年度より薬学部が開設され、医療系総合大学としてますます成長を遂げる和医大でぜひ充実した学生生活を送ってください。



和医大の魅力

研修医1年目
大道 彩夏

受験生の皆さん、初めまして。ここでは私が6年間の学生生活を送ってきた中で印象に残ったことや和医大の魅力についてお話ししたいと思います。

まず、和医大は公立大学であり、他大学に比べると全体の人数が少ないです。また、選択制の授業は少なく、ほとんどが必修となっています。これらは一見すると短所のように思いますが、6年間の大学生活を終えた今、長所であったと感じています。人数が少ないからこそ、自然と学年同期の殆どの人と喋ることができ、学年全体の団結力が深まります。そして、受けている授業や実習などがほぼ同じなので、分からないところを教え合えたり、試験の辛さも共に乗り越えたりすることができます。また、休みが揃うので、遊ぶ時は友人と思いっきり遊びに出かけるなど、オン・オフのはっきりした学生生活を送ることができます。

次に、和医大は部活動がとても盛んで、放課後や休日は熱心に練習に励む学生が多いです。部活動では、先輩や後輩といった縦の繋がりも強くなります。私自身も、普段の授業のこと、試験のことなど、様々なことを先輩に教えていただきました。このような縦の繋がりや、部活動を通じて得られる体力や忍耐力は、医師になってからも大変重要であると考えています。

さて、皆さんは和歌山という場所を知っていますか？他府県に住んでいる人はきっと「田舎」というイメージが強いでしょう。和歌山出身の私が入学して大阪や愛知出身の友達に何度も言われたことは「和歌山って意外と住みやすい」ということです。魚や果物が美味しく、自然が多く、何よりも「意外と生活するのに困らない」そうです。そのような土地柄も和医大の魅力のひとつです。

最後に、コロナ禍の中、これから受験を迎える皆さんは大変多くの苦悩や不安を抱えていると思います。そのような皆さんの志望校選びやこれからの受験勉強に対するモチベーションに少しでも繋がれば、と思って今回書かせていただきました。近い将来、一緒に和歌山で働ける日を楽しみにしています！



卒後臨床研修センター オリエンテーション風景



受験生の皆様へ

研修医2年目
加藤 勇牙

この度は和医大のパンフレットに目を向けていただきありがとうございます。

私からは、和医大の特徴と学生生活について簡単にお話しします。

和医大は公立の医科大学でありキャンパスは比較的小規模ではありますが、そこに学生が皆集まっているため、同期はもちろんのこと、先輩後輩との距離が近いです。そのため勉強はみんなで協力しながら行い、困ったときにはすぐ先輩に頼ることもできる環境であったと思います。

勉強については、もちろん楽な時ばかりではありませんが、苦しい時も皆で協力しながら乗り切った6年間であったと実感しています。

医師になった今でも学生生活でできた繋がりは非常に有り難いものであり、日々困ったことや分からないことがあった時によく助けられています。

次に、学生生活についてお話しします。和医大は、大阪から電車で1時間余と比較的アクセスの良い環境にあります。そのため休日は大阪まで遊びに行く学生も多かったように思います。また、キャンパスからすぐ近くに海があり、釣りにでかけたり、夏場はBBQをしたりと和歌山ならではの学生生活も楽しめると思います。

部活動に関しては、ほとんどの学生が所属しており、他大学と比べても熱心に活動している部が多いと感じます。私は剣道部に所属し、6年間仲間達と楽しく一所懸命練習に取り組みました。

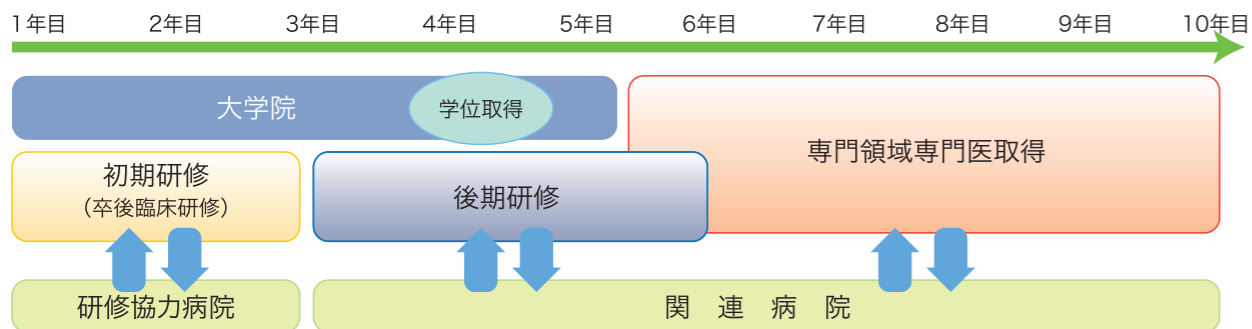
アクセスは比較的良好で、和歌山ならではの遊びや部活動についても充実している大学だと思います。

受験勉強はとて大変だと思います。勉強に息詰まった時には本学での学生生活を思い描きモチベーションを高めてくださると幸いです。どうか身体に気をつけて頑張ってください。



センター内風景

和歌山県立医科大学附属病院研修イメージ(一般入学卒の場合) ※卒業年数等はイメージです



現在20の体育会と10の文化会が活動をしています。

体育会

- 卓球部
- バレーボール部
- ヨット部
- 剣道部
- 柔道部
- 水泳部
- バドミントン部
- 硬式テニス部
- ソフトテニス部
- フットサル部
- 準硬式野球部
- スキー・山岳部
- 陸上競技部
- バスケットボール部
- ボート部
- サッカー部
- ゴルフ部
- 空手道部
- ラグビー部
- 合気道部

文化会

- 軽音楽部
- 音楽研究部
- Wakayama Will部
- 米国医学研究会×USMLE
- 美術部
- ESS部
- アカペラ部
- 茶道部
- 演劇部
- 釣魚部



ヨット部



剣道部



茶道部



Wakayama Will部



バドミントン部



演劇部



男子バレー部



水泳部



硬式野球部



柔道部



音楽研究部



ESS部

年間スケジュール

4	上旬	春期休業/入学式/新入生ガイダンス		入学式
	中旬	新入生研修		
	下旬	学生健康診断・Student Doctor 称号授与式		
5	上旬			新入生研修
	中旬			
	下旬			
6	上旬			新入生研修
	中旬			
	下旬			
7	上旬	西日本医科学生総合体育大会激励会		新入生研修
	中旬			
	下旬	夏期休業(7月下旬~8月下旬)		
8	上旬	西日本医科学生総合体育大会(8月上旬~中旬)		新入生研修
	中旬	オープンキャンパス		
	下旬			
9	上旬			新入生研修
	中旬			
	下旬			
10	上旬			新入生研修
	中旬	篤志解剖体慰霊祭		
	下旬	紀葉祭(大学祭)		
11	上旬			新入生研修
	中旬			
	下旬			
12	上旬			新入生研修
	中旬	学校推薦型選抜願書受付		
	下旬	冬期休業(12月下旬~1月上旬)		
1	上旬			新入生研修
	中旬	大学入学共通テスト		
	下旬	一般選抜(前期日程)願書受付		
2	上旬	学校推薦型選抜及び合格発表		新入生研修
	中旬	医師国家試験		
	下旬	開学記念日		
3	上旬			新入生研修
	中旬	卒業式・学年末休業(3月中旬~下旬)		
	下旬			

入学金・授業料(令和2年度実績)

入学金	県内生	282,000円
	県外生	752,000円
授業料	年 額	535,800円

※在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金と授業料等減免による支援を行う制度です。

世帯所得金額に基づく区分	給付奨学金支給月額		減免額(年額)	
	自 宅通学者	自宅外通学者	入学金	授業料
9,800円 or 19,500円 or 29,200円	22,300円 or 44,500円 or 66,700円	94,000円 or 188,000円 or 282,000円	178,600円 or 357,200円 or 535,800円	

※「入学金」の減免は、入学月分から支援を受けられる学生が対象です。

奨学金制度

学業・人物とも優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難である学生に対して、日本学生支援機構、地方公共団体及び各種団体等による奨学金制度があります。

※日本学生支援機構貸与奨学金については、右の表のとおりです。

※本学独自の奨学金として、医学部6年生に対して、「修学奨学金」「修学奨励金」として月額5万又は10万円を1年間無利子で貸与する制度等があります。

※高等教育の修学支援新制度の給付奨学金と同時に第一種奨学金を受ける場合、貸与月額から減額又は増額されることがあります。

種 類	区 分	(令和2年度)	
		貸与月額	貸与期間
第一種奨学金(無利息)	自 宅通学者	2万or3万or4.5万円	6年間
	自宅外通学者	2万or3万or4万or5.1万円	6年間
第二種奨学金(利息付)		2万から1万単位で上限12万円までの金額	6年間

学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

学生が教育研究活動中、通学途中、課外活動中に不慮の事故により災害を被った場合の経済的負担の軽減や、正課、学校行事、及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を破損したことにより被る法律上の損害賠償を補償するため、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」及び「学研災付帯賠償責任保険(学研賠)」への加入を義務付けています。

種 類	(令和2年度)	
	保険金	保険期間
学研災	4,800円	6年間
学研賠	3,000円	6年間
計	7,800円	

入学手続の際に加入していただきます。

アパート等

学生寮はありませんが、大学周辺に多くの学生向けの民間アパートやワンルームマンションがありますので、それらを利用して下さい。なお、民間アパート等のあつ旋や事業所の紹介はしていません。

アルバイト

本学ではアルバイトの紹介は行っていません。なお、学生生活においてアルバイトは二義的なものであり学業に影響がないように心がけましょう。

国際交流

本学では、教育及び研究の面で活発な国際交流が行われています。昭和61年度に本学と中国の山東大学と学術交流協定を締結し、平成17年度に医学部学生4名と保健看護学部5名の公式訪問が初めて実現しました。
 また、平成18年度からは、国際交流センターを設置し、米国ハーバード大学への学生派遣や中国、タイの大学との交流など、国際交流を推進しています。さらに、外国人研究者や外国人留学生を毎年積極的に受け入れるなど、本学の国際交流はますます活発に展開されています。コロナ禍においても、本学の国際交流はますます活発に展開されています。

■学術交流協定締結先

国名	協定先			
米国	ハワイ大学 医学部			
チェコ共和国	ブラハ大学 第2医学部			
ポルトガル共和国	リスボン大学 医学部			
中華人民共和国	山東大学	香港中文大学	上海交通大学 医学院	
大韓民国	延世大学 医学部	高麗大学 医学部	亜洲大学	
タイ王国	マヒドン大学 看護学部	マヒドン大学 公衆衛生学部	コンケン大学 医学部	ブラバ大学
ミャンマー連邦共和国	保健省 医科学局	ヤンゴン第一医科大学	ヤンゴン看護大学	ヤンゴン総合病院
ベトナム社会主義共和国	保健省			
インドネシア共和国	ウダヤナ大学	アイルランガ大学		

■令和元年度 派遣実績(以下の大学の他、協定校にも留学することが可能です。)

対象学年	派遣期間	派遣先	派遣人数
3年	基礎配属期間	カナダ・トロント大学	5名
		カナダ・アルバータ大学	1名
		シンガポール・ナンヤン理工大	2名
6年	臨床実習	米国・バーモント大学	2名
		チェコ・チャールズ大学	2名
		タイ・コンケン大学	2名
		米国・ハワイ大学	1名

■令和元年度 受入実績(以下の大学の学生と交流の機会を設けました。)

ブラハ大学	香港中文大学	コンケン大学	ウダヤナ大学
バーモント大学	マヒドン大学	ストラスブール大学	山東大学

入試結果

年度	区分	募集人数 A	志願者数 B	受験者数 C	入学者数 D	うち出身校		志願倍率 B/A	競争倍率 C/A
						県内	県外		
令和3年度	推薦	21名程度	57	24	20	18	2	2.7	1.1
	前期	79名程度	243	225	80	12	68	3.1	2.8
	合計	100名	300	249	100	30	70	3.0	2.5
	(うち女子)		(121)	(95)	(41)	(17)	(24)		
令和2年度	推薦	21名程度	54	27	23	20	3	2.6	1.3
	前期	79名程度	171	151	77	14	63	2.2	1.9
	合計	100名	225	178	100	34	66	2.3	1.8
	(うち女子)		(67)	(47)	(23)	(9)	(14)		
平成31年度	推薦	21名程度	72	28	21	18	3	3.4	1.3
	前期	79名程度	387	233	79	11	68	4.9	2.9
	合計	100名	459	261	100	29	71	4.6	2.6
	(うち女子)		(167)	(96)	(35)	(13)	(22)		

※医学部の入学定員は平成22年度入学生から100名に増員されました。(定員内訳:一般枠 70名、県民医療枠 20名、地域医療枠 10名)

学生募集要項の請求方法

医学部の学生募集要項及び出願書類については、令和3年11月中旬に発表の予定です。
 次のいずれかの方法により請求してください。

(1)大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。
 詳しくは、本学ホームページ(<http://www.wakayama-med.ac.jp/>)をご覧ください。

(2)テレメールで請求する場合

①インターネットまたは自動音声応答電話をご利用ください。

 テレメール	インターネット	https://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 
	自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) <small>※ IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円。</small>	

※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

②資料を希望する資料請求番号(6桁)を入力またはプッシュしてください。

資料名	料金	資料請求番号	資料名	料金	資料請求番号
医学部案内	180円	565870	医学部募集要項・医学部案内	250円※	545950
医学部募集要項	250円※	585850			

③あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

- ※ 資料は通常、発送日のおおむね3~5日後にお届けできます(日曜・祝日の配達はありません)。お届け先地域や郵便事情によってはお届けに1週間ほど要する場合があります。
- ※ 17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
- ※ 料金の後ろに※印のある資料については、追加料金200円で「1~2日後に届く発送サービス」をご利用になれます(予約受付期間中および自動音声応答電話による請求を除く)。本サービスをご利用の場合は、発送日のおおむね1~2日後にお届けできます。ただし、お届け先地域や郵便事情によっては3日以上かかる場合があります。
- ※ 郵便法改正による「土曜の配達休止」と「お届け日数の繰り下げ」により、10月以降はお届けに要する日数が増える場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ 随時発送の資料が1週間以上(予約受付の資料は発送開始日から1週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- ※ 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- ※ なお、支払時に手数料として、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払い(LINE Pay、PayPay、au Pay)は88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み(ATM・窓口)もご利用になれます(別途手数料が必要)。

(3)本学へ直接請求する方法

郵送により請求する場合は、住所・氏名・郵便番号を明記し、390円分の切手(速達は780円)を貼付した返信用封筒(角型2号、240mmx332mm)を同封の上、封筒の表に「医学部募集要項請求」と朱書きして、下記へ申し込んでください。

(1)・(2)の請求方法についてのお問合せ先

■テレメールカスタマーセンター
Tel.050-8601-0102 (9:30~18:00)

(3)の請求方法についてのお問合せ先

〒641-8509
 和歌山市紀三井寺811-1
 和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班

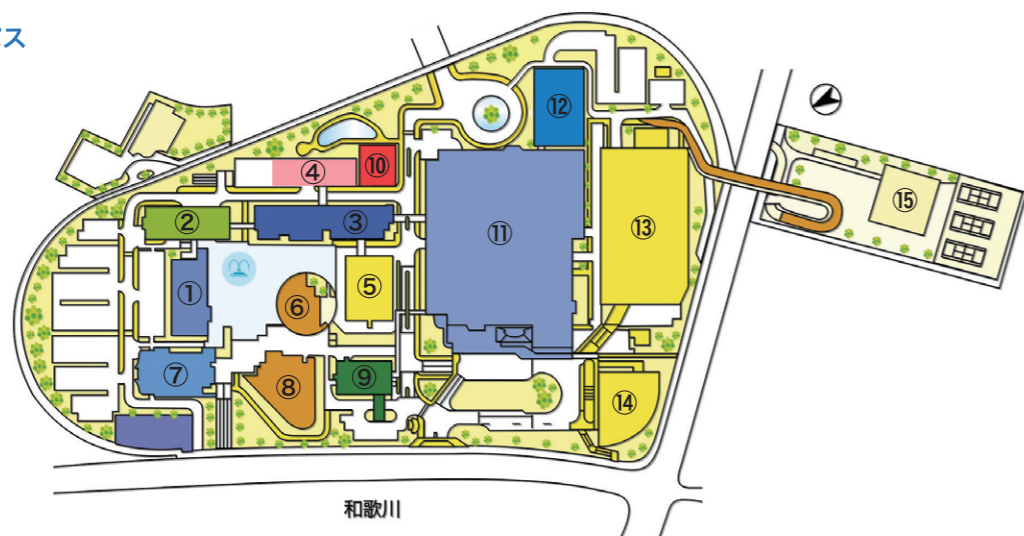
Campus Map (紀三井寺キャンパス)

本学の紀三井寺キャンパスは、「海・森・命」をデザインキーワードに北側の学部は和歌浦に浮かぶ「玉津島山」に見立てた9棟の建物群からなり、南側の病院棟では、波のイメージの曲線や森のイメージの緑色が使われています。東側には水路状の池と植栽を施し、それを回る遊歩道を設け患者や一般の人々に憩いの場を提供しています。図書館の壁には「生命の潮流」が描かれており、研究棟の玄関には「紀国山海宝船」、3階から10階には海から森そして天へと巡回するアートワークが施されています。

また、平成25年度末には附属病院(東棟)が完成し、県民医療枠や地域医療枠の学生が卒業、医師として専門医や学位を取得できるよう、キャリア形成の支援をより充実して行えるようになりました。

さらに、令和2年9月には、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部が共同で研究を行うことなどを目的とした次世代医療研究開発センターが完成しました。

○紀三井寺キャンパス



- ①基礎教育棟
- ②実習棟
- ③研究棟
- ④次世代医療研究開発センター
- ⑤R1・動物実験施設
- ⑥福利厚生棟
- ⑦講堂
- ⑧図書館
- ⑨管理棟
- ⑩高度医療人育成センター
- ⑪附属病院(中央棟)
- ⑫附属病院(東棟)
- ⑬立体駐車場
- ⑭エネルギーセンター
- ⑮体育館

附属病院(東棟)

地域医療支援の拠点施設としての機能を活かし、県民医療枠・地域医療枠の学生へのキャリア形成の支援をより充実させるとともに、地域の医療機関とのネットワーク構築により遠隔医療、遠隔診断に取り組んでいくことを目的として、紀三井寺キャンパス内の附属病院東側に建築し、平成26年4月から使用を開始しています。



附属病院(東棟)外観

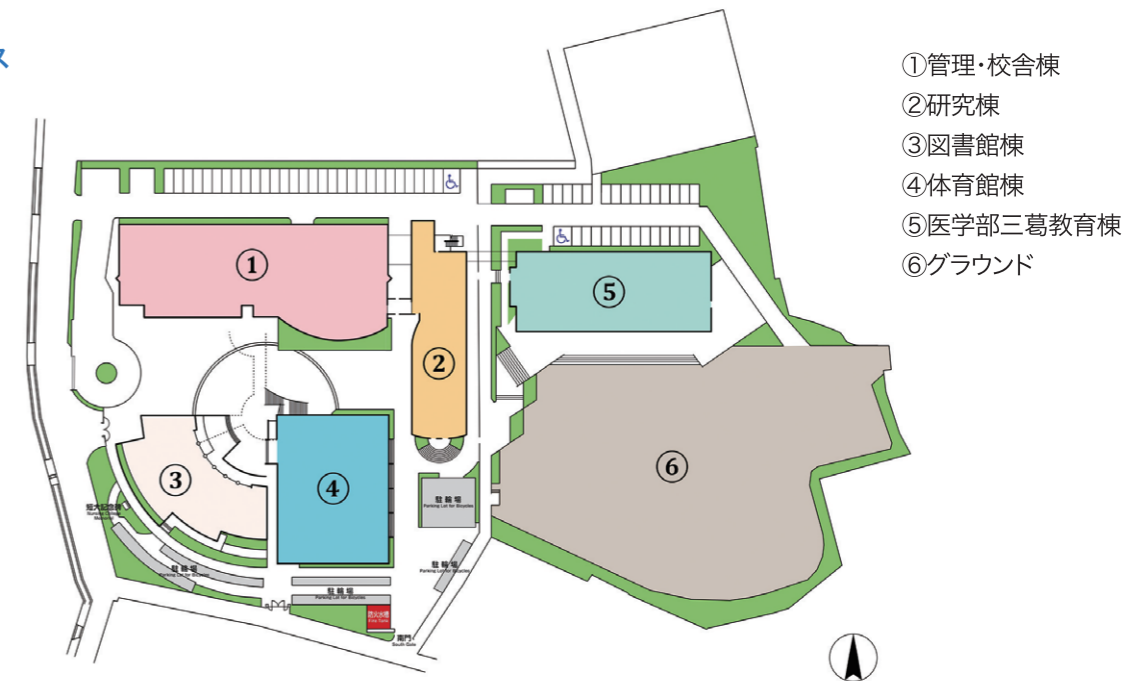


セミナー室

Campus Map (三葛キャンパス)

JRきのくに線紀三井寺駅から北へ約1kmの位置に本学の三葛キャンパスがあります。周囲を閑静な住宅街に囲まれたこのキャンパスでは、医学部1年生がリベラルアーツ(教養教育)を中心に学んでいます。

○三葛キャンパス



- ①管理・校舎棟
- ②研究棟
- ③図書館棟
- ④体育館棟
- ⑤医学部三葛教育棟
- ⑥グラウンド

医学部三葛教育棟

医学部三葛教育棟は、本学の医学部入学定員の増員に伴い、教養教育の新たな拠点として保健看護学部のある三葛キャンパスに併設しました。

この建物は、将来のチーム医療を担う中核的人材育成のための教養教育の核となる建物であり、和歌山県の補助を受けて三葛キャンパス内に建築し、平成21年4月より使用を開始しています。



医学部
三葛教育棟外観



学生ホール

薬学部薬学科

薬学部キャンパス(伏虎キャンパス)は和歌山城に近接した中心市街地に位置しています。

薬学部とは医療系総合大学の強みを活かし、教育研究面で積極的な連携を行います。

教育面では、1年次において薬学部、保健看護学部との共通講義「ケアマインド教育」を行います。また、医療職の役割を理解しながら、学部の垣根を越えた意見交換を通じて医療人の心構えを修得します。

研究面では、医学と薬学の連携による創薬研究や治験を含む臨床研究の更なる充実を図ります。



伏虎キャンパス外観